

未来につながる道路の開通

市長 米本 弥一郎



平成8年度から整備が進められていた県道銚子海上線の清滝バイパスが、3月13日に全線開通しました。

この道路は、合併前の海上町時代からの長年の悲願であり、地域住民はもちろん、仕事などで道路を利用する人も完成を待ち望んでいたことと思います。

3月10日に行われた清滝トンネル完成見学会には1、200人を超える人が訪れました。完成を祝うお囃子はやしの音が鳴り響くトンネル内を、大勢の人が歩いていく様子を見て、この道路に対する期待の大きさを改めて認識しました。

清滝バイパスの開通により、利根かもめ大橋と東総広域農道との往来がスムーズになります。旭市を経由し、神栖方面と成田方面を結ぶ主要なルートとして、将来予定されている成田国際空港の機能強化も見据え、

その重要性はますます高まっていくと思います。

また、開通前は幅が狭く見通しの悪い道路を、大型車両を含め多くの車が通行していたことから、今後は周辺道路の交通量の分散による安全性の向上も見込まれます。

新たな道路の開通により、物流の効率化や地域間交流の活性化が図られ、東総地域への社会的・経済的な効果は、大きなものになると期待しています。

3月31日には銚子連絡道路の横芝光町～匝瑳市間が開通しました。市内でも、南堀之内バイパスや飯岡海上連絡道、飯岡地区の津波避難道路の整備を進めているところです。

道路は、市の発展と市民の安全・安心な暮らしに欠かせないものです。市民の皆さまの理解と協力を得ながら、早期完成を目指してまいります。